

ワンダフルライフ

変額個人年金保険Ⅱ型2003

<20年運用コース>

特別勘定の月次運用レポート

2024年3月末現在

- 市場概況
- 特別勘定の運用状況
- 組入投資信託の運用レポート

変額個人年金保険の投資リスクについて

- 本商品は、年金額や解約払戻金額等がファンド(特別勘定)の運用実績に基づき変動するしくみの変額個人年金保険です。
- ファンド(特別勘定)の主要投資対象である投資信託は、国内外の株式・債券等で運用しており、資産運用には、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあり、ご契約者はこれらの投資リスクを負うことになります。
- したがって、運用成果によっては、お受け取りになる年金や解約払戻金等の合計額が、一時払保険料の額を下回る場合があり、損失が生じるおそれがあります。

ご契約者が負担する費用等について

ご契約期間中には、以下の費用をご負担いただきます。

- 契約初期費用 : なし
- 保険契約関係費用 : 資産残高に対して年率2.37%(消費税対象外)
- 運用関係費用 : 信託財産に対して最大で年率0.98375%(税抜0.95%)程度
投資信託にかかる信託報酬とマザーファンドが保有する外国投資証券にかかる信託報酬を合計した実質的な費用です。信託報酬は、投資対象である投資信託にかかる信託報酬年率0.37125%(税抜0.3375%)程度と、その投資対象である外国投資信託証券にかかる信託報酬年率0.6125%程度との合計年率0.98375%(税抜0.95%)程度となります。
- 年金管理費 : 受取年金額の1.0%(消費税対象外)
- 解約時費用 : ご契約日(増額日)から7年未満の解約・一部解約では、解約控除対象額※の最大7%が解約控除額として差し引かれます。
- 本商品にかかる費用の合計額は、「運用期間中の費用(「保険関係費用」「運用関係費用」)」と「年金受取期間中の費用(「年金管理費」)」の合計額となります。また、特定のお客さまには「解約時費用」がかかります。

※解約控除対象額は、解約の場合は一時払保険料相当額、一部解約の場合は一部解約請求額と一時払保険料相当額のうちいずれか小さい方の金額となります。なお、過去に一部解約があった場合はその際の解約控除対象額が一時払保険料相当額から差し引かれます。

当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド)グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

[引受保険会社] オリックス生命保険株式会社

本商品につきましては、新規のご契約のお取り扱いを行っておりません。
ただし、既に本商品をご契約されているお客様につきましては、ご契約後の各種手続のお取り扱いを行っております。

(管)ORI-089

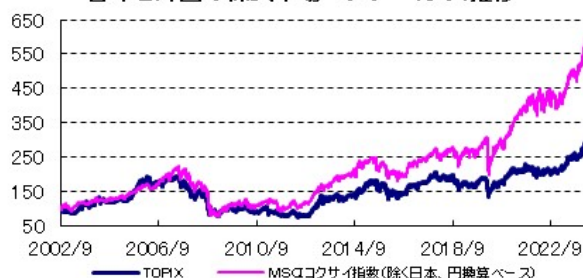
市場概況

代表的な指標の騰落率		1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年
日本株式	日経平均株価	3.07%	20.63%	26.72%	43.96%	38.35%
	TOPIX(東証株価指数)	3.47%	17.00%	19.16%	38.19%	41.69%
日本債券	NOMURA-BPI総合	▲ 0.11%	▲ 0.51%	0.37%	▲ 2.20%	▲ 4.98%
外国株式	MSCIコクサイ指数(除く日本、円換算ベース)	4.00%	15.34%	22.00%	41.25%	69.73%
外国債券	FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)	1.20%	5.04%	8.29%	15.80%	17.31%
外国為替	米ドル対円為替レート(仲値)	0.49%	6.75%	1.22%	13.39%	36.76%

日経平均株価(円)の推移



日本と外国の株式市場パフォーマンス推移

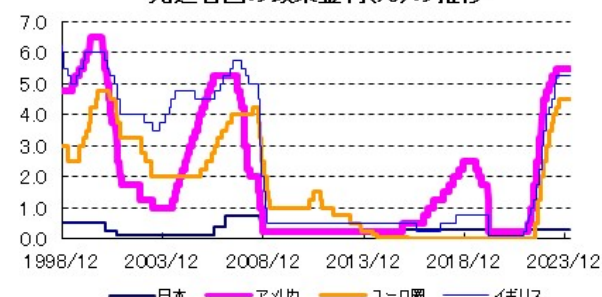


*上記グラフは、2002年9月末を100として指数化しています。

日本の国債利回り(%)の推移



先進各国の政策金利(%)の推移



日本と外国の債券市場パフォーマンス推移



*上記グラフは、2002年9月末を100として指数化しています。

外国為替レート(円)の推移



全てのデータの出所はBloomberg、野村総合研究所です。NOMURA-BPIとは、日本国内債券市場で発行されている代表的な公社債の流通動向を的確に表す投資収益指数です。当指数は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社によって計算、公表されている、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社の知的財産です。なお、同社は、当指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。MSCIコクサイ指数とは、MSCI Inc.が所有する株価指数で、世界の主要先進国の株式市場の動きを捉える基準として、広く認知されているものです。FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

※運用状況については、組入投資信託の運用レポートをご覧ください。

- 当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド)グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
- 特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
- 各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

特別勘定(ファンド)グループ

特別勘定と主な投資対象の投資信託

特別勘定	運用資産				主な投資対象の投資信託	運用会社	資産配分(%)		資産合計 (百万円)
	株式		債券				投資信託	現預金 その他	
	日本	外国	日本	外国					
日本株式インデックス ファンド FJ	●				MHAM TOPIXファンドVA *	アセットマネジメントOne株式会社	97.7%	2.3%	25
日本株式インデックス ファンド225 DKA	●				MHAM株式インデックスファンド 225VA *	アセットマネジメントOne株式会社	99.0%	1.0%	7
世界株式ファンド DK	●	●			MHAM/JPMグローバル株式VA Aコース(為替ヘッジあり) *	アセットマネジメントOne株式会社	99.0%	1.0%	39
世界債券ファンド DI				●	DIAMグローバル・ボンド・ ポートVA(ヘッジなし)	アセットマネジメントOne株式会社	99.3%	0.7%	14
マネーファンド MC ※1			●		フィデリティ・マネー・プールVA *	フィデリティ投信株式会社	0.0%	100.0%	11

* 適格機関投資家専用設定される投資信託です。

投資信託の運用方針

主な投資対象の投資信託	運用方針
MHAM TOPIXファンドVA *	マザーファンド受益証券への投資を通じて、TOPIX(東証株価指数)(配当込み)と連動する投資成果を目標として運用を行います。
MHAM株式インデックスファンド 225VA *	日経平均株価(日経225)の動きに連動する投資成果を目指します。主として「MHAM株式インデックス225マザーファンド」への投資を通じ、日経平均株価の採用銘柄の中から200~225銘柄に、原則として同指数における個別銘柄の比率と同程度となるように投資を行います。株式の組入比率は高位を保ちます。
MHAM/JPMグローバル株式VA Aコース(為替ヘッジあり) *	主としてMHAMモルガン グローバル株式マザーファンドが保有するJPモルガン・ファンズ グローバル・フォーカス・ファンド(Xクラス) 外国投資証券への投資を通じて世界各国の株式に実質的に投資を行い、信託財産の中・長期的な成長を目指します。実質組入外貨建資産については、マザーファンドが保有する外国投資証券の組入資産にかかる為替エクスポージャーを含めた実質的な為替変動リスクについて、可能な限り為替ヘッジを行うことを原則とします。株式の価格変動リスク、為替リスク等があります。
DIAMグローバル・ボンド・ ポートVA(ヘッジなし)	日本を除く世界主要国の公社債を主要投資対象とし、FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)を上回る投資成果の実現を目指します。なお実質外貨建資産については、対円で為替ヘッジを行いません。
フィデリティ・マネー・プールVA *	主に本邦通貨表示の公社債等に投資します。運用にあたっては、基準価額の安定と流動性の確保に最大限留意します。日本国内政府あるいは高格付け企業が発行する公社債等に投資し、金利変化やその他の市場要因からの感応度を低く抑えて、高い安全性を維持します。

* 適格機関投資家専用設定される投資信託です。

※1 特別勘定「マネーファンドMC」の運用状況について

日本銀行によるマイナス金利導入を背景とする金利低下を受けまして、当特別勘定が主に投資する投資信託「フィデリティ・マネー・プールVA*」において、安定的にプラスの収益を確保することが困難な状況となっております。
この状況を踏まえまして、一時的に投資信託の組入れを中止することを決定致しました。

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド)グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。
したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

特別勘定 ユニットプライスと収益率の推移

日本株式インデックスファンド FJ



期間収益率	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
	4.09%	16.78%	18.30%	36.49%	39.08%	107.13%

日本株式インデックスファンド225 DKA



期間収益率	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
	3.48%	20.37%	25.64%	41.41%	33.55%	178.83%

世界株式ファンド DK



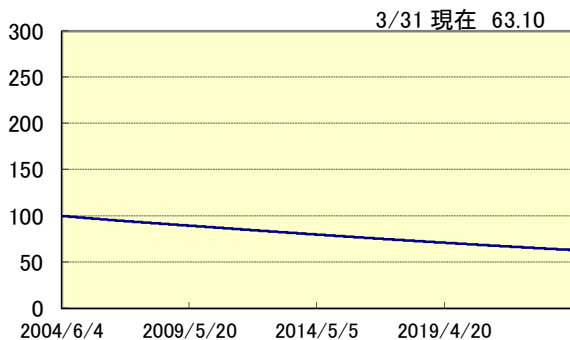
期間収益率	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
	3.29%	9.84%	19.84%	20.63%	20.26%	175.25%

世界債券ファンド DI



期間収益率	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
	1.18%	2.94%	6.55%	9.43%	2.40%	13.64%

マネーファンド MC



期間収益率	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
	-0.19%	-0.59%	-1.17%	-2.34%	-6.86%	-36.90%

※特別勘定のユニットプライスは当初100で設定されております。

当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド)グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。

特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。

各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。

したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】

日本株式インデックスファンド FJ

【特別勘定が投資する投資信託】

MHAM TOPIXファンドVA(適格機関投資家専用)

【運用会社】

アセットマネジメントOne株式会社

主要投資対象

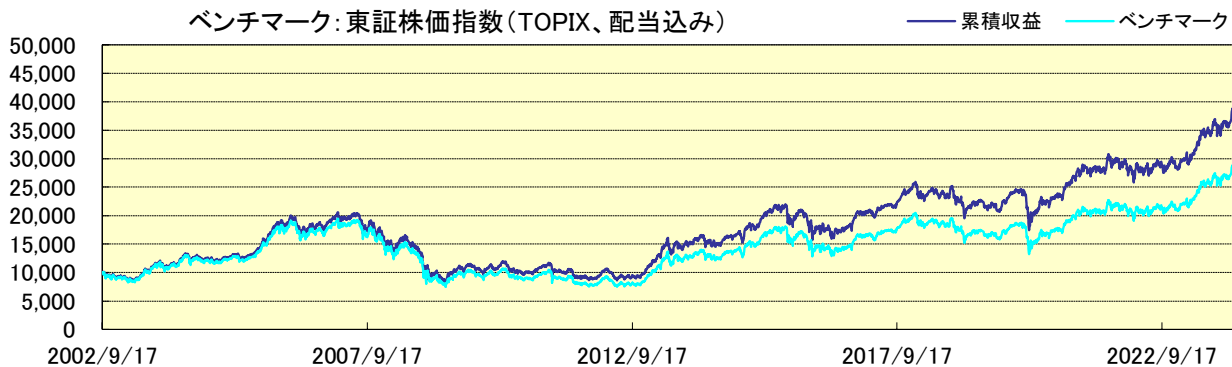
日本の上場株式。主に、国内株式バシッブ・ファンド(最適化法)・マザーファンド受益証券を通じて投資が行われます。

運用方針

マザーファンド受益証券への投資を通じて、TOPIX(東証株価指数)(配当込み)と連動する投資成果を目標として運用を行います。

設定来の運用実績-ファンドの累積収益とベンチマークの推移-

2024年3月29日現在



本資料における累積収益は、ファンドの決算時に収益分配があった場合にその分配金(税引前)を再投資したものととして算出したファンドの収益率を基に作成。ファンドの当初元本とベンチマークをそれぞれ10,000として指数化。

東証株価指数(TOPIX)の指数値および東証株価指数(TOPIX)にかかる標章または商標は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社(以下「JPX」という。)の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など東証株価指数(TOPIX)に関するすべての権利・ノウハウおよび東証株価指数(TOPIX)にかかる標章または商標に関するすべての権利はJPXが有しています。JPXは、東証株価指数(TOPIX)の指数値の算出または公表の誤謬、遅延または中断に対し、責任を負いません。本商品は、JPXにより提供、保証または販売されるものではなく、本商品の設定、販売および販売促進活動に起因するいかなる損害に対してもJPXは責任を負いません。

※2021年7月2日の約款変更により、ベンチマークは「TOPIX(東証株価指数)」から「東証株価指数(TOPIX、配当込み)」に変更されました。当資料ではベンチマークについて、2021年7月1日までは「TOPIX(東証株価指数)」、2021年7月2日以降は「東証株価指数(TOPIX、配当込み)」のデータを使用しています。

基準価額情報等

基準価額	42,852円
設定日	2002/9/18
純資産総額	218百万円
信託期間	無期限
決算日	原則3月10日

基準価額は信託報酬控除後の値です。
基準価額は10,000口当たりを表示しています。

資産構成比率

国内株現物	97.6%
国内株先物	2.4%
その他資産	-0.1%

その他資産は、100%から国内株現物・国内株先物の組入比率の合計を差し引いたものです。
上記組入比率は、純資産総額に対する比率を表示しています。

国内株組入銘柄数	2,140銘柄
----------	---------

基準価額騰落率-累積収益率-

	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	5年	設定来
ファンド	4.40%	18.02%	20.34%	40.84%	50.88%	92.66%	328.52%
ベンチマーク	4.44%	18.14%	20.55%	41.34%	52.21%	86.86%	218.98%
差	-0.04%	-0.12%	-0.21%	-0.50%	-1.33%	5.80%	109.54%

累積収益率は実際の投資家利回りとは異なります。

分配等実績(10,000口当たり、税引前)

2013/03/11	0円	2019/03/11	0円
2014/03/10	0円	2020/03/10	0円
2015/03/10	0円	2021/03/10	0円
2016/03/10	0円	2022/03/10	0円
2017/03/10	0円	2023/03/10	0円
2018/03/12	0円	2024/03/11	0円

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド)グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。

・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。

・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。

したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】

日本株式インデックスファンド FJ

【特別勘定が投資する投資信託】

MHAM TOPIXファンドVA(適格機関投資家専用)

【運用会社】

アセットマネジメントOne株式会社

主要投資対象

日本の上場株式。主に、国内株式パッシブ・ファンド(最適化法)・マザーファンド受益証券を通じて投資が行われます。

運用方針

マザーファンド受益証券への投資を通じて、TOPIX(東証株価指数)(配当込み)と連動する投資成果を目標として運用を行います。

組入上位10業種

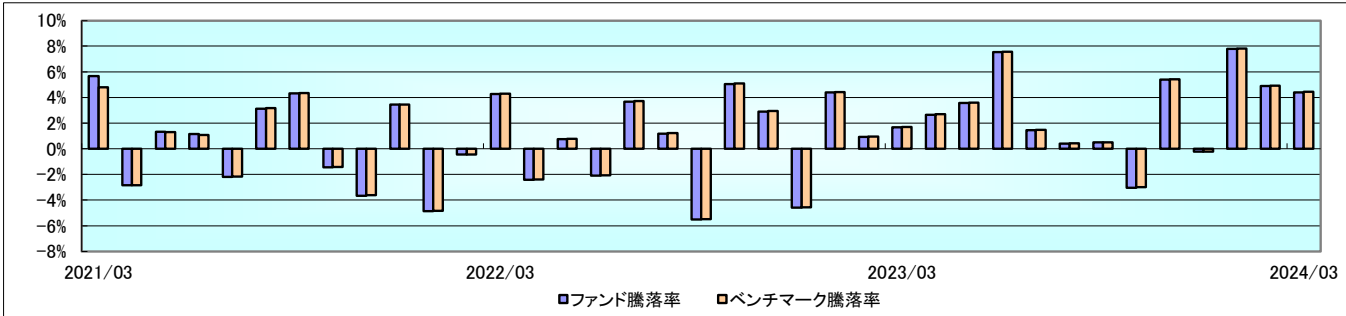
順位	業種名	ファンド	ベンチマーク	差
1	電気機器	17.4%	17.4%	0.0%
2	輸送用機器	9.5%	9.5%	0.0%
3	卸売業	7.4%	7.4%	0.0%
4	銀行業	7.4%	7.4%	0.0%
5	情報・通信業	7.3%	7.3%	0.0%
6	化学	5.7%	5.7%	0.0%
7	機械	5.6%	5.6%	0.0%
8	サービス業	4.4%	4.5%	-0.0%
9	医薬品	4.3%	4.3%	0.0%
10	小売業	4.2%	4.2%	0.0%

組入上位10銘柄

下記組入比率は、保有株式に対する比率を表示しています。

順位	銘柄名	業種	比率
1	トヨタ自動車	輸送用機器	5.3%
2	三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	2.4%
3	ソニーグループ	電気機器	2.3%
4	東京エレクトロン	電気機器	2.1%
5	三菱商事	卸売業	1.8%
6	キーエンス	電気機器	1.8%
7	日立製作所	電気機器	1.7%
8	三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	1.6%
9	信越化学工業	化学	1.5%
10	三井物産	卸売業	1.4%

ファンドとベンチマークの月次リターン推移(直近3年分)



投資環境

3月の東証株価指数(TOPIX、配当込み)は月間で4.44%上昇しました。上旬は、上昇したものの、日銀のマイナス金利解除観測から円高が進んだことや、過熱への警戒感から下落する場面も見られました。中旬は、春闘で賃上げ率が強めの結果となり、日銀はマイナス金利解除を決定しました。市場では日銀の決定が予想通りと受け止められる中、円安を受けて、上昇しました。下旬は、一段の円安を受けて上昇した後、月末にかけて配当の権利落ちなどから、上昇幅を縮小しました。

東証33業種別指数では、「不動産業」「鉱業」「石油・石炭製品」などが騰落率上位となり、一方で、「海運業」「精密機器」「医薬品」などが騰落率下位となりました。

市場環境と今後の見通し

国内景気は、賃金上昇や企業の根強い投資意欲を背景に回復基調へ戻ると予想されます。日銀は、3月にマイナス金利政策の解除をはじめ金融政策の正常化を実施しました。追加の利上げは急がず、賃金と物価の好循環定着の確信度を見極め、追加利上げのタイミングを慎重に判断していくものとみられます。

国内株式市場は、比較的堅調な国内景気を背景に、良好な企業収益が株価の支えになるとみられます。ただし、これまでの上昇が急ピッチだったことから、調整リスクには留意が必要です。

お知らせ

今月のお知らせはありません。

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド)グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。

・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。

・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】

日本株式インデックスファンド225 DKA

【特別勘定が投資する投資信託】

MHAM株式インデックスファンド225VA〔適格機関投資家専用〕

【運用会社】

アセットマネジメントOne株式会社

主要投資対象

日経平均株価に採用された銘柄(実質)。主に MHAM株式インデックス225マザーファンド受益証券を通じて投資が行われます。

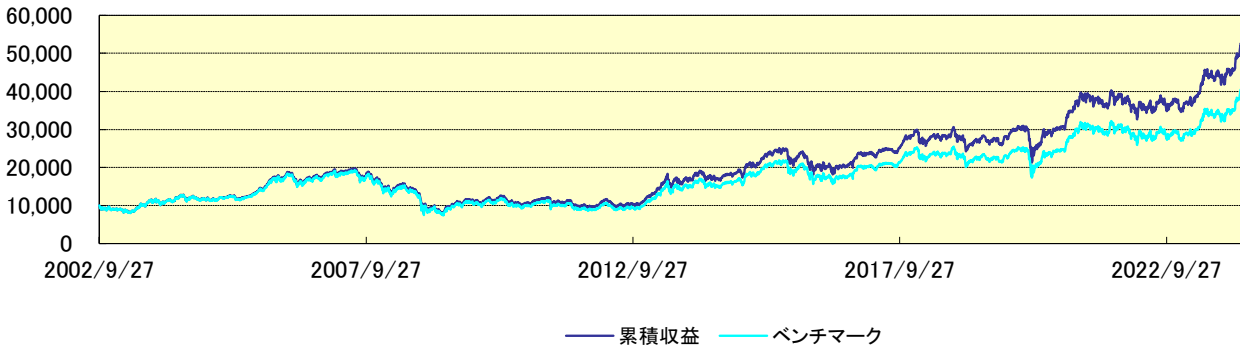
運用方針

・日経平均株価の動きに連動する投資成果を目指します。・株式の組入比率は高位を保ちます。
・原則として、日経225採用銘柄の中から200~225銘柄に、同指数における個別銘柄の比率と同程度となるように投資を行います。

設定来の運用実績-ファンドの累積収益とベンチマークの推移-

2024年3月29日現在

ベンチマーク: 日経平均株価(日経225)



本資料における累積収益は、ファンドの決算時に収益分配があった場合にその分配金(税引前)を再投資したものととして算出したファンドの収益率を基に作成。ファンドの当初元本とベンチマークをそれぞれ10,000として指数化。
「日経平均株価」は、株式会社日本経済新聞社によって独自に開発された手法によって、算出される著作物であり、株式会社日本経済新聞社は、「日経平均株価」自体および「日経平均株価」を算定する手法に対して、著作権その他一切の知的財産権を有しています。当ファンドは、投資信託委託会社等の責任のもとで運用されるものであり、株式会社日本経済新聞社は、その運用および当ファンドの取引に関して、一切責任を負いません。

基準価額情報等

基準価額	52,358円
設定日	2002/9/30
純資産総額	555百万円
信託期間	無期限
決算日	原則3月15日

基準価額は信託報酬控除後の値です。
基準価額は10,000口当たりを表示しています。

資産構成比率

国内株現物	97.6%
東証プライム	97.6%
東証スタンダード	0.0%
東証グロース	0.0%
その他市場	0.0%
国内株先物	2.5%
その他資産	-0.0%

その他資産は、100%から国内株現物・国内株先物の組入比率の合計を差し引いたものです。
上記組入比率は、純資産総額に対する比率を表示しています。

国内株組入銘柄数 225銘柄

基準価額騰落率-累積収益率-

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	5年	設定来
ファンド	3.72%	21.42%	27.62%	46.07%	45.12%	105.74%	455.65%
ベンチマーク	3.07%	20.63%	26.72%	43.96%	38.35%	90.37%	323.58%
差	0.64%	0.78%	0.90%	2.10%	6.76%	15.37%	132.07%

累積収益率は実際の投資家利回りとは異なります。

分配等実績(10,000口当たり、税引前)

2013/03/15	0円	2019/03/15	0円
2014/03/17	0円	2020/03/16	0円
2015/03/16	0円	2021/03/15	0円
2016/03/15	0円	2022/03/15	0円
2017/03/15	0円	2023/03/15	0円
2018/03/15	0円	2024/03/15	0円

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド)グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】

日本株式インデックスファンド225 DKA

【特別勘定が投資する投資信託】

MHAM株式インデックスファンド225VA〔適格機関投資家専用〕

【運用会社】

アセットマネジメントOne株式会社

主要投資対象

日経平均株価に採用された銘柄(実質)。主に MHAM株式インデックス225マザーファンド受益証券を通じて投資が行われます。

運用方針

・日経平均株価の動きに連動する投資成果を目指します。・株式の組入比率は高位を保ちます。
・原則として、日経225採用銘柄の中から200~225銘柄に、同指数における個別銘柄の比率と同程度となるように投資を行います。

組入上位10業種

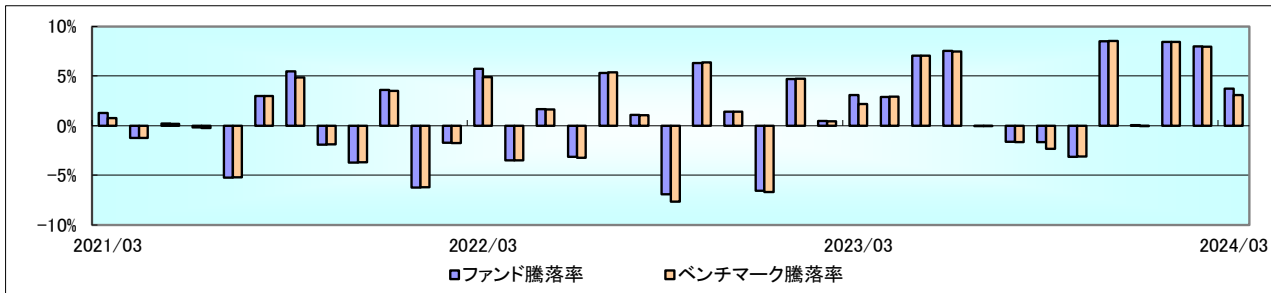
順位	業種名	比率
1	電気機器	28.2%
2	小売業	14.1%
3	情報・通信業	9.9%
4	化学	6.4%
5	医薬品	5.5%
6	機械	5.2%
7	輸送用機器	4.8%
8	サービス業	4.0%
9	精密機器	3.4%
10	卸売業	3.3%

組入上位10銘柄

順位	銘柄名	業種	比率
1	ファーストリテイリング	小売業	11.5%
2	東京エレクトロン	電気機器	9.6%
3	アドバンテスト	電気機器	4.4%
4	ソフトバンクグループ	情報・通信業	4.4%
5	信越化学工業	化学	2.7%
6	KDDI	情報・通信業	2.2%
7	TDK	電気機器	1.8%
8	テルモ	精密機器	1.8%
9	ファナック	電気機器	1.7%
10	ダイキン工業	機械	1.7%

上記組入比率は、保有株式に対する比率を表示しています。

ファンドとベンチマークの月次リターン推移(直近3年分)



投資環境

3月の日経平均株価は前月末比3.07%上昇し、月末は40,369.44円で終了しました。上旬は、上昇したものの、日銀のマイナス金利解除観測から円高が進んだことや、過熱への警戒感から下落する場面も見られました。中旬は、春闘で賃上げ率が強めの結果となり、日銀はマイナス金利解除を決定しました。市場では日銀の決定が予想通りと受け止められる中、円安を受けて、上昇しました。下旬は、一段の円安を受けて上昇した後、月末にかけて配当の権利落ちなどから、上昇幅を縮小しました。

市場環境と今後の見通し

国内景気は、賃金上昇や企業の根強い投資意欲を背景に回復基調へ戻ると予想されます。日銀は、3月にマイナス金利政策の解除をはじめ金融政策の正常化を実施しました。追加の利上げは急がず、賃金と物価の好循環定着の確信度を見極め、追加利上げのタイミングを慎重に判断していくものとみられます。
国内株式市場は、比較的堅調な国内景気を背景に、良好な企業収益が株価の支えになるとみられます。ただし、これまでの上昇が急ピッチだったことから、調整リスクには留意が必要です。

お知らせ

今月のお知らせはありません。

当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド)グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】

世界株式ファンド DK

【特別勘定が投資する投資信託】

MHAM/JPMグローバル株式VA Aコース(為替ヘッジあり)
〔適格機関投資家専用〕

【運用会社】

アセットマネジメントOne株式会社

主要投資対象

世界各国の株式。主としてMHAMモルガン グローバル株式マザーファンドが保有するJPモルガン・ファンズ グローバル・フォーカス・ファンド(ルクセンブルグ籍外国投資法人)(Xクラス)外国投資証券を通じて投資が行われます。

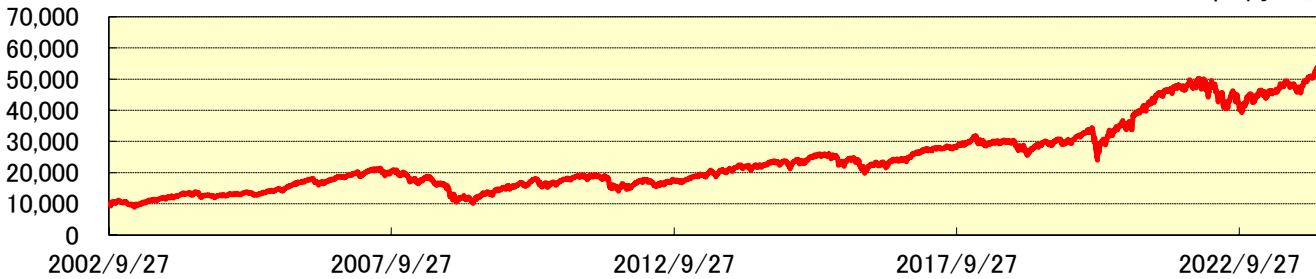
運用方針

主としてMHAMモルガン グローバル株式マザーファンドが保有するJPモルガン・ファンズ グローバル・フォーカス・ファンド(Xクラス)外国投資証券への投資を通じて世界各国の株式に実質的に投資を行い、信託財産の中・長期的な成長を目指します。

実質組入外貨建資産については、マザーファンドが保有する外国投資証券の組入資産にかかる為替エクスポージャーを含めた実質的な為替変動リスクについて、可能な限り為替ヘッジを行うことを原則とします。

設定来の運用実績-ファンドの累積収益の推移-

2024年3月29日現在



本資料における累積収益は、ファンドの決算時に収益分配があった場合にその分配金(税引前)を再投資したものととして算出したファンドの収益率を基に作成。ファンドの当初元本を10,000として指数化。

基準価額情報等

基準価額	54,174円
設定日	2002/9/30
純資産総額	64百万円
信託期間	無期限
決算日	原則3月16日

基準価額は信託報酬控除後

資産構成比率

外国投資証券	94.5%
その他資産	5.5%

その他資産は、100%から外国投資証券の組入比率の合計を差し引いたものです。

上記組入比率は、純資産総額に対する比率を表示しています。

基準価額騰落率-累積収益率-

1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	5年	設定来
3.5%	10.6%	21.7%	24.0%	29.6%	95.5%	464.9%

累積収益率は実際の投資家利回りとは異なります。

分配等実績(10,000口当たり、税引前)

2013/03/18	0円	2019/03/18	0円
2014/03/17	0円	2020/03/16	0円
2015/03/16	0円	2021/03/16	0円
2016/03/16	0円	2022/03/16	0円
2017/03/16	0円	2023/03/16	0円
2018/03/16	0円	2024/03/18	0円

投資環境(2024年3月)

3月の米国株式市場は上昇しました。上旬は、米長期金利低下からハイテク株高となりました。中旬は、FOMC(米連邦公開市場委員会)で年内3回の利下げ見通しが維持されたことなどから上昇しました。下旬は、出遅れ銘柄の物色等から上昇しました。

3月の欧州株式市場は上昇しました。上旬は、ECB(欧州中央銀行)ラガルド総裁が6月の利下げ可能性を示唆する中、欧州長期金利低下もあって上昇しました。中旬以降は、スイス中銀による予想外の利下げを受けてECBの利下げ観測が強まったことや、ユーロ圏景況感の改善を受け、上昇しました。

3月の国内株式市場は上昇しました。上旬は、上昇した後、日銀のマイナス金利解除観測から円高が進んだことや、過熱への警戒感から下落に転じました。中旬は、日銀がマイナス金利解除を決定し、市場では日銀の決定が予想通りと受け止められる中、急速な円安を受けて、上昇しました。下旬は、配当の権利落ちなどから、月間の上昇幅を縮小しました。

お知らせ

今月のお知らせはありません。

当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド)グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。

特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。

各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】

世界株式ファンド DK

【特別勘定が投資する投資信託】

MHAM/JPMグローバル株式VA Aコース(為替ヘッジあり)
[適格機関投資家専用]

【運用会社】

アセットマネジメントOne株式会社

主要投資対象

世界各国の株式。主としてMHAMモルガン グローバル株式マザーファンドが保有するJPモルガン・ファンズ グローバル・フォーカス・ファンド(ルクセンブルグ籍外国投資法人)(Xクラス)外国投資証券を通じて投資が行われます。

運用方針

主としてMHAMモルガン グローバル株式マザーファンドが保有するJPモルガン・ファンズ グローバル・フォーカス・ファンド(Xクラス)外国投資証券への投資を通じて世界各国の株式に実質的に投資を行い、信託財産の中・長期的な成長を目指します。

実質組入外貨建資産については、マザーファンドが保有する外国投資証券の組入資産にかかる為替エクスポージャーを含めた実質的な為替変動リスクについて、可能な限り為替ヘッジを行うことを原則とします。

<JPモルガン・ファンズ グローバル・フォーカス・ファンドの資産組入状況> データ基準日:2024年2月29日

資産構成比率

国内株現物	1.5%
国内株先物	0.0%
外国株現物	94.9%
外国株先物	0.0%
外国投信	2.3%
その他資産	1.4%

その他資産は、100%から国内株および外国株の現物・先物、外国投信の組入比率の合計を差し引いたものです。

組入銘柄数

国内株組入銘柄数	2銘柄
外国株組入銘柄数	50銘柄
外国投信組入銘柄数	1銘柄

組入上位10カ国

順位	国名	比率
1	アメリカ	70.6%
2	フランス	6.2%
3	スイス	4.6%
4	オランダ	3.9%
5	台湾	3.7%
6	イギリス	2.9%
7	デンマーク	1.8%
8	韓国	1.7%
9	日本	1.5%
10	インド	0.7%

国名は法人登録国または地域を表示しています。

組入上位10業種

順位	業種名	比率
1	半導体・半導体製造装置	16.0%
2	一般消費財・サービス流通・小売り	9.5%
3	ソフトウェア・サービス	8.9%
4	金融サービス	8.7%
5	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	6.9%
6	資本財	6.9%
7	エネルギー	4.7%
8	ヘルスケア機器・サービス	4.2%
9	保険	4.2%
10	食品・飲料・タバコ	4.1%

業種は世界産業分類基準(GICS)によるものです。

資産組入状況は、JPモルガン・ファンズ グローバル・フォーカス・ファンドの運用会社であるJ.P. Morgan Asset Management社 から提供されたデータに基づき、アセットマネジメントOneが算出および表示しています。

比率は、JPモルガン・ファンズ グローバル・フォーカス・ファンドの純資産総額に対する比率を表示しています。

当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド)グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。

特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。

各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。

したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】

世界株式ファンド DK

【特別勘定が投資する投資信託】

MHAM/JPMグローバル株式VA Aコース(為替ヘッジあり)
[適格機関投資家専用]

【運用会社】

アセットマネジメントOne株式会社

主要投資対象

世界各国の株式。主としてMHAMモルガン グローバル株式マザーファンドが保有するJPモルガン・ファンズ グローバル・フォーカス・ファンド(ルクセンブルグ籍外国投資法人)(Xクラス)外国投資証券を通じて投資が行われます。

運用方針

主としてMHAMモルガン グローバル株式マザーファンドが保有するJPモルガン・ファンズ グローバル・フォーカス・ファンド(Xクラス)外国投資証券への投資を通じて世界各国の株式に実質的に投資を行い、信託財産の中・長期的な成長を目指します。

実質組入外貨建資産については、マザーファンドが保有する外国投資証券の組入資産にかかる為替エクスポージャーを含めた実質的な為替変動リスクについて、可能な限り為替ヘッジを行うことを原則とします。

<JPモルガン・ファンズ グローバル・フォーカス・ファンドの資産組入状況> データ基準日:2024年2月29日

組入上位10銘柄

順位	銘柄名 業種名	国名	組入 比率	特徴
1	MICROSOFT CORP ソフトウェア・サービス	アメリカ	7.9%	米国の大手ソフトウェアメーカー。コンピュータのオペレーティングシステム(OS)で高いシェアを有する他、サーバー用アプリケーション、クラウドサービスなどの提供も手掛ける。
2	AMAZON.COM INC 一般消費財・サービス流通・小売り	アメリカ	6.5%	オンライン小売会社。多岐にわたる製品を販売。顧客別カスタマイズされたショッピングサービス、ウェブ上でのクレジットカード決済、および顧客への直接配送を手掛ける。
3	NVIDIA CORP 半導体・半導体製造装置	アメリカ	5.0%	3次元(3D)グラフィックスプロセッサと関連ソフトウェアの設計・開発・販売会社。同社の製品は、主要パソコン向けに双方向3Dグラフィックスを提供する。
4	MASTERCARD INC - A 金融サービス	アメリカ	3.9%	資金決済処理サービス会社。クレジットおよびデビットカードの決済処理、電子マネー、ATM、トラベラーズチェックなどを手掛ける。世界で事業を展開。
5	UNITEDHEALTH GROUP INC ヘルスケア機器・サービス	アメリカ	3.8%	米国および海外で事業を展開する管理医療会社。雇用主に対し、従業員厚生給付プログラムを計画、管理するのに必要な商品やリソースを提供する。
6	TAIWAN SEMI MFG ADR REP 5 ORD 半導体・半導体製造装置	台湾	3.7%	半導体製品の製造・販売に従事する会社。整流素子、小信号ダイオード、アナログIC、MOSFETを主に製造する。
7	ASML HOLDING NV 半導体・半導体製造装置	オランダ	3.4%	半導体製造装置メーカー。半導体製造装置の開発・製造を行い、世界の主要半導体企業に販売する。
8	CME GROUP INC 'A' 金融サービス	アメリカ	2.9%	デリバティブ取引所運営会社。先物、先物オプション、金利、株価指数、外国為替、およびコモディティなどの取引を提供する。取引所の立会場や電子取引プラットフォーム上でデリバティブ商品の買い手と売り手を結びつけ、相対取引を清算する。
9	LVMH MOET HENNESSY LOUIS VUI 耐久消費財・アパレル	フランス	2.9%	高級品のグループ。ワインやコニャックなどの酒類をはじめ、香水、化粧品、旅行かばん、時計・宝石類の製造・販売を手掛ける。
10	PROGRESSIVE CORP 保険	アメリカ	2.7%	保険持株会社。子会社を通じて、個人・商業用自動車保険とその他特別損害保険および関連サービスを提供する。米国で事業を展開。

- ・国名は法人登録国または地域を表示しています。・当該個別銘柄の揭示は、銘柄推奨を目的としたものではありません。
- ・資産組入状況は、JPモルガン・ファンズ グローバル・フォーカス・ファンドの運用会社であるJ.P. Morgan Asset Management社 から提供されたデータに基づき、アセットマネジメントOneが算出および表示しています。
- ・比率は、JPモルガン・ファンズ グローバル・フォーカス・ファンドの純資産総額に対する比率を表示しています。

運用概況

情報技術銘柄などの株価上昇が基準価額にプラスに寄与しました。一方、資本財・サービス 銘柄などの株価下落が基準価額にマイナスに影響しました。

- ・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド)グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
- ・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
- ・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】

世界債券ファンド DI

【特別勘定が投資する投資信託】

DIAMグローバル・ボンド・ポートVA(ヘッジなし)

【運用会社】

アセットマネジメントOne株式会社

主要投資対象

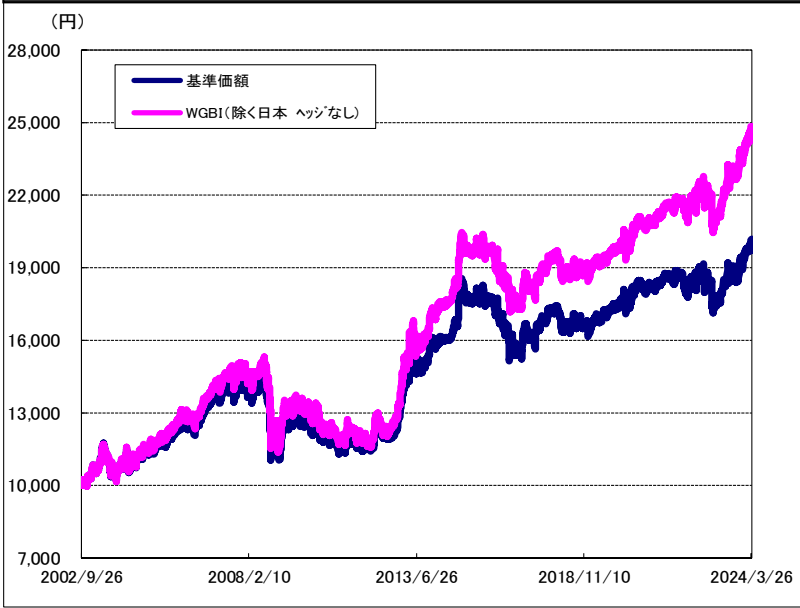
日本を除く世界主要国の公社債。主に、グローバル・ボンド・ポート・マザーファンド受益証券を通じて投資が行われます。

運用方針

日本を除く世界主要国の公社債を主要投資対象とし、WGBI(FTSE世界国債インデックス 除く日本)を上回る投資成果の実現を目指します。なお実質外貨建資産については、対円で為替ヘッジを行いません。

2024年3月末までの運用経過

基準価額の推移(税引前分配金再投資)



・WGBI(FTSE世界国債インデックス 除く日本)は当ファンド設定日前日の終値を10,000として指数化。
・分配金再投資後基準価額=前日分配金再投資後基準価額×(当日基準価額÷前日基準価額)
(※決算日の当日基準価額は税引前分配金込み)
・基準価額は課税前の分配金を再投資したとして計算していますので、実際の基準価額と異なる場合があります。
・基準価額は信託報酬控除後です。

基準価額騰落率(税引前分配金再投資)

	1か月 (2024/02/29)	3か月 (2023/12/29)	6か月 (2023/09/29)	1年 (2023/03/31)	3年 (2021/03/31)	5年 (2019/03/29)	設定来 (2002/09/27)
当ファンド	1.38%	3.58%	7.92%	12.29%	9.50%	18.47%	101.11%
ベンチマーク	1.20%	5.04%	8.29%	15.80%	17.31%	28.64%	148.00%
差	0.18%	-1.46%	-0.36%	-3.51%	-7.81%	-10.16%	-46.89%

※当ファンド騰落率は課税前の分配金を再投資したもとして算出していますので、実際の投資家利回りと異なる場合があります。

組入上位10銘柄

No	銘柄	クーポン	償還日	組入比率(%)
1	US T N/B 3.375 05/15/33	3.375%	2033/05/15	8.81
2	US T N/B 2.25 11/15/27	2.250%	2027/11/15	7.35
3	US T N/B 2.0 08/15/25	2.000%	2025/08/15	5.51
4	US T N/B 1.625 05/15/31	1.625%	2031/05/15	5.19
5	US T N/B 0.625 08/15/30	0.625%	2030/08/15	5.07
6	US T N/B 1.5 08/15/26	1.500%	2026/08/15	4.44
7	ITALY BTFS 4.35 11/01/33	4.350%	2033/11/01	4.21
8	US T N/B 2.0 02/15/50	2.000%	2050/02/15	4.14
9	US T N/B 1.125 05/15/40	1.125%	2040/05/15	3.83
10	DEUTSCHLAND 2.3 02/15/33	2.300%	2033/02/15	3.70

※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。

通貨別組入比率

通貨別組入比率	組入債券	為替予約	計
USドル	50.97%	-2.20%	48.76%
カナダ・ドル	1.94%	0.00%	1.94%
メキシコ・ペソ	0.90%	-0.01%	0.89%
イギリス・ポンド	5.09%	0.00%	5.09%
デンマーク・クローネ	0.27%	0.00%	0.27%
ノルウェー・クローネ	0.19%	-0.01%	0.17%
ユーロ	36.01%	-11.52%	24.49%
スウェーデン・クローネ	0.21%	-0.01%	0.19%
ポーランド・ズロチ	0.50%	1.37%	1.87%
オーストラリア・ドル	1.35%	5.50%	6.85%
ニュージーランド・ドル	0.00%	0.23%	0.23%
シンガポール・ドル	0.00%	0.38%	0.38%
オフショア・人民元	0.00%	5.96%	5.96%
イスラエル・シユケル	0.00%	0.31%	0.31%
現金等	2.57%	-	-
合計	100.00%	-	-

※比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

格付別比率

格付別比率	ファンド	銘柄数
AAA	64.96%	25
AA	14.05%	14
A	6.17%	9
BBB	12.43%	9
現金等	2.39%	0
合計	100.00%	57

※1 比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。
※2 格付については、海外格付機関(S&PおよびMoody's)による上位のものを採用しています。また、+・-等の符号は省略し、S&Pの表記方法にあわせて表示しています。

基準価額等の情報

基準価額	20,111円
解約価額	20,111円
純資産総額	119百万円
設定日	2002年9月27日
決算日	9月20日

マザーファンドの資産構成比率

実質組入比率	97.6%
内現物等組入比率	97.6%
内先物等組入比率	0.0%
現金等比率	2.4%
組入銘柄数	57

分配金情報(税引前) ※直近3年分

第19期(2021.09.21)	0円
第20期(2022.09.20)	0円
第21期(2023.09.20)	0円
設定来累計分配金	0円

※分配金は1万口当たり。

※分配対象額が少額の場合には、分配を行わない場合があります。

ポートフォリオの状況

平均複利回り	3.75%
平均クーポン	2.28%
平均残存期間	8.64
修正デュレーション	6.94

※マザーファンドにおける状況です(純資産総額を基に計算)。

種別構成比

種別	組入比率
国債	96.26%
政府機関債	0.62%
地方債	0.74%
現金等	2.39%
合計	100.00%

※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。

※現金等には、残存期間が1年以下の債券を含みます。

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド)グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。

・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。

・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。

したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】

世界債券ファンド DI

【特別勘定が投資する投資信託】

DIAMグローバル・ボンド・ポートVA(ヘッジなし)

【運用会社】

アセットマネジメントOne株式会社

主要投資対象

日本を除く世界主要国の公社債。主に、グローバル・ボンド・ポート・マザーファンド受益証券を通じて投資が行われます。

運用方針

日本を除く世界主要国の公社債を主要投資対象とし、WGBI(FTSE世界国債インデックス 除く日本)を上回る投資成果の実現を目指します。なお実質外貨建資産については、対円での為替ヘッジを行いません。

海外マクロ経済の動向

3月の金融市場では、多くの主要国の国債利回りが低下（価格は上昇）しました。米国の国債利回りは、3月上旬は米国経済指標の軟化から低下（価格は上昇）傾向で推移しましたが、中旬以降は2月分のCPI（消費者物価指数）やPPI（生産者物価指数）が市場予想を上回ったことなどから上昇（価格は下落）に転じました。しかし、その後のFOMC(米連邦公開市場委員会)で、年内の利下げ見通しが維持されたことなどから、利回りは再度低下に転じ、月を通じてみると小幅に低下しました。ユーロ圏の国債利回りも、ECB(欧州中央銀行)理事会でインフレ見通しが引き下げられ、将来の利下げ実施が意識されたことなどが要因となり、低下しました。

為替市場は、主要国・地域の経済ならびに金融政策見通しに左右される推移となりました。米ドルは、中旬にかけては米国経済指標の軟化を受けて軟調に推移しましたが、その後は市場予想を上回る物価統計などを受けて反発し、月を通じてみるとユーロや英ポンドなど他主要通貨に対して概ね横ばいとなりました。円は、日銀のマイナス金利の終了など大規模金融緩和解除に対する思惑から、中旬にかけては他主要通貨に対して円高傾向で推移しましたが、その後はマイナス金利終了後の利上げペースは緩やかにとどまり、緩和的な金融環境が当面維持されるとの見方から円安に転じ、月を通じてみると他の主要通貨に対して概ね横ばいとなりました。

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド)グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。

・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。

・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。